参考　クロスロード（災害対応ゲーム）【展開】

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 学習活動 | 指導上の留意点 | 評価（観点・場面・方法） |
| 導入（5分）展開（20～25分）設問作成（10分）設問発表（5分）全体まとめ(5分） | ・ゲームの説明・練習問題・設問を読む人は、山になっている設問カードから一枚取り読む（2回）・YesかNoか決めてカードを裏向きにして出す・一斉にカードをオープンし、ざぶとんを受け取る※多数意見は青ざぶとん1人だけ違う意見は金ざぶとんをもらう・1人ずつ順番に意見を発表する・多数意見、少数意見を踏まえ班の意見をまとめる**これを繰り返す**・実際に起こりそうな判断に難しいことを考えて、設問を作成する・1～2名に設問を発表してもらい、みんなでYes/Noを表明する | ・基本ルールと例外ルールがあることを押さえる・1つの設問の流れを確認する・設問は2回読む・設問を読む順番は班長から右回りでもよいが、下の名前の50音順や誕生日の遅い順など場が和む決め方でもよい・設問が読まれたら5秒数えて裏向きにして出す・「オープン！」の掛け声で一斉にオープンさせる・他の意見を否定しない、正統派な意見ばかりにならないよう注意を払う・設問作成シートを配布する・設問が作れない児童・生徒には印象に残った設問や、答えを出すのが難しかった設問を聞き、作成を促す・問題をメモし、全体まとめでコメントする・様々な考え方があり、自分と違う意見もある。その人の立場で考えることが大切 | ・練習問題に対して、自分の意見をYes/Noで表明する（考える力・判断力）・他の意見を聞く力・自分の意見を発表する力・いろいろな意見があることに気づく（意欲）・設問の人の立場に立って考えることができる（思考力）・他の人の作った設問に積極的に取り組んでいるか（意欲） |